

新人に「ほう・れん・そう」を教える上司が心がける

「お・ひ・た・し」に共感の声、その内容は？

職場の新人によく「報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）を教える」という、ツイッターのとあるユーザーが、それに対して「お・ひ・た・し」で返す「ほうれんそうのおひたし」を心がけていると紹介し、大きな話題となりました。「お・ひ・た・し」の内容は以下の通りです。

「お」：怒らない 「ひ」：否定しない 「た」：助ける（困りごとあれば） 「し」：指示する

そして「悪い内容でもこの点を注意していると新人さんは早めに相談してくれるので対策打ちやすい」と投稿すると、「今の上の人たちってこれ全部できてない気がする」「とても大事な心得」「これ印刷して上司のデスクに貼り付けたい」といった共感の声が多く寄せられました。

「マナーなき上司に部下は従わない」

「お」「ひ」「た」「し」のポイント

「お」：怒らない 「怒る＝感情に身を任せる」行為はNG ただし相手のためを思って注意する「しかる」は必要です。

「ひ」：否定しない 仕事をする上で、上司が部下の意見を否定する場面は少なからずあるもの。しかし、そのような場合でも、冒頭からいきなり否定するのは避け、まずは相手の意見や言葉を受け入れてから自分の意見を伝える姿勢を意識しましょう。こうすることで、否定のニュアンスを和らげることができます。また受けて側も「否定された」と落ち込まないことが大切。状況をネガティブに捉えない癖をつけましょう。マナーはお互い様。仮に不本意だと思っても、それをポジティブに捉えることで自身を成長させることにつながります。

「た」：助ける 部下を助けるのは上司として当然の役目。しかし過剰に助けすぎると、時と相手によっては部下の成長の妨げになってしまうこともあります。「助けること」と「サポートすること」は別物。いきなり助けるのではなく、部下が悩んだり困ったりしている時は、まずサポートを試みましょう。

「し」：指示する SNS 上でも「指示が無い」「適当な指示ばかり」など上司に対する不満が目立ちますが、部下は常に上司からの的確な指示が欲しいと思うもの。上司には、これに応える責任があります。しかし、部下も何でもかんでも「指示待ち」の状態になるのはよくありません。まずは、自分で考えるという自発的な姿勢が大切です。指示を受けたい時は、状況に応じて自分から上司に伺いを立て、指示を促すことが重要。この時、上司としては、部下が伺いを立てやすい雰囲気の日頃から作ってあげることが大切です。部下は「上司が忙しそう」「いつもしかめっ面をしている」「冷たくあしらわれるのが怖い」などの理由から、なかなか上手にコミュニケーションを取れないと悩んでいることも多いのです。

「お・ひ・た・し」で業績改善も

「これらはすべて、双方がマナーあるコミュニケーション（マナーコミュニケーション）で解決していきます。「ほう・れん・そう」のように、上司が部下にアクションを要求するだけでは一方通行であり、マナーコミュニケーションとは言えません。上司の皆様もお忙しく、ご自身が抱えるお仕事で大変かとは思いますが、社内や社外、お客様を含む全員がプラスになるよう仕事を遂行するには、マナー（＝相手の立場に立つ思いやりの心）が必須。上司として、部下の気持ちや求めていることを理解してあげる深く大きな心を持つことはリーダーとしても大事なことです。マナーとは先手必勝。どちらかが先に心を開いて行動を起こしていくことで双方に良い結果をもたらします。「お・ひ・た・し」を実践することは、上司が先手を取ることで部下からの信頼に結び

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

つくと同時に、部下の成長が促されることでよい関係の構築・ひいては職場の空気や業績改善につながるという相乗効果が期待できるはずです」
大人んサーより（西出 ひろ子）

健康事業所宣言

福島県と協会けんぽ福島県支部が共催する「健康事業所宣言」をしました。
社員の皆さんが心身ともに元気で働ける会社を目指して4つ全ての健康づくりメニューへの取組みを宣言します。

- 1) 健康診断の実施
- 2) 社員さんの生活習慣改善を支援
- 3) 検査・治療の推奨
- 4) 我が社の健康プラン（運動の推進）

今年は9/1に全社員が健康診断を受診しました。その結果を産業医の先生に判断いただき、該当者が再検査に行ってきました。再検査の結果は特に異常が無かったようです。10月は有給強化月間と言うこともあり上手に利用して早めの受診ができました。

福島県は急性心筋梗塞などの心疾患による死亡率が男女とも全国ワースト1位です。また血圧のリスク保有率もワースト4位。これらの疾患は生活習慣の改善により発症・重症化を防ぐことができます。早めの改善を心がけましょう。



ボジョレー・ヌーボー解禁日

11月の第3木曜日、今年は11月16日がボジョレー・ヌーボーの解禁日です。

「ボジョレー・ヌーボー」とは、「ボジョレーワイン」の新酒をいいます。「ボジョレー」はフランスの地名で、「ヌーボー」は「新酒」を意味します。

「解禁日」が設けられているのは「ワインの質を保つため」です。

解禁日がなければ、「我先に」と業者が販売を始めます。



「先出し競争」が過熱した先にあったのは、ワインの質の低下でした。十分な醸造を終えないまま、売り出されてしまったのです。

そのためフランスでは、ワインの質が下がるのを防ぐ法律を作りました。それゆえの「解禁日」なのです。

秋のお彼岸 手土産選びのポイント

秋のお彼岸のシーズンには、お墓参りをするため家族や親族が集うことも多いものです。その際に必要となるのがお供え物。

お供え物は、お花、日持ちのする菓子折り、個人が好きだったもの、果物、高級なお線香やろうそくが良いでしょう。

中には、洋菓子は動物性の素材が使用されていることから、精進料理でないためお供え物としてはNGとする方もいらっしゃるかもしれません。事前に確認をするか、和菓子にしておくが無難です。また、親族が多く集まる場合には、皆で食べられるようなものが良いですが、定番のおはぎを持っていく時は他の人と被らないか事前に確認をしたほうが良いかもしれません。

またお供えは、奇数個というのもマナーです。特に気にかけないという方もいらっしゃるかもしれませんが、年配の方は慣習を重んじる方も多いので押さえておいた方がよいポイントです。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します